

ZWS Manager



User's Manual

ユーザーズマニュアル

第2版

2023/5/8

もくじ

用語	3
このマニュアルで使われている記号	3
本ツールの免責事項について	3
本製品の概要	4
起動方法	5
使い方	6
RAIDステータス	6
本体FANと温度	7
内蔵ディスクのアンプラグ	8
メール設定	9
スケジュール設定1	
スケジュール設定2	11
省電力設定	
Funcボタン設定	13
アクティブリペア	14
こんなときは	
ディスクを交換する場合・アンプラグができない場合	16
「ボリューム不正」のメッセージが表示された	
ディスク交換時にメッセージが表示された	
RAID崩壊が発生した	
ログ・メール一覧	

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、 故障の原因になることがあります。注意してください。
МЕМО	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

本ツールの免責事項について

免責事項

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

本ソフトウェアはNSB-72D/74D/74RシリーズのRAID管理、温度管理、その他設定をおこなう管理ソフトです。

🗭 ZWS Manager		X
🥑 zws m	anager	
□ ZWS Manager BAIDステータス	ZWS Manager	
	バージョン	1. 7. 7. 0
	ZWS Manager	1. 7. 7. 0
省電力設定 Funcボタン設定 Funcボタン設定	ZWS UI Manager	1. 7. 7. 0
	ZWS RAID Manager	1. 7. 7. 0
	BIOS	ELECOM NSB-72D 09
		ブザーテスト ブザーOFF



ZWS ManagerはNSB-72D/74D/74Rシリーズの起動と同時に自動的に起動します。 初期状態はタスクトレイ上に表示されています。

MEMO Administratorの権限のユーザーでログオンしてください。 ZWS Manager は、Administratorの権限のユーザーでログオンした場合のみ起動できます。



🦻 タスクトレイの ZWS Manager アイコンをクリックします。



ZWS Managerのメイン画面が表示されます。

ØZWS Manager		×
🥑 zws m	anager	
□ZWS Manager BAIDステータス	ZWS Manager	
本体FANと温度 一 内蔵ディスクのアンプラグ	バージョン	1. 7. 7. 0
	ZWS Manager	1. 7. 7. 0
省電力設定 Funcボタン設定 アクティブリペア	ZWS UI Manager	1. 7. 7. 0
	ZWS RAID Manager	1. 7. 7. 0
	BIOS	ELECOM NSB-72D 09
		ブザーテスト ブザーOFF

画面左側がメニュー、右側が詳細情報ビューです。ZWS Managerのバージョンは、「バージョン」からご確認く ださい。

項目	内容
ブザーテスト	クリックすると、NAS 本体のビープ音を発します。
ブザー OFF	ビープ音が鳴っている場合、クリックで停止させることができます。

RAIDステータス

RAID設定の実行、RAID情報が表示されます。



項日	
SYSTEM	システムに使用しているハードディスクを表示します。
DATA	データ領域に使用しているハードディスクを表示します。 ※ マルチディスクの場合、表示されません。
項目	内容
RAIDモード	現在設定されているRAIDモードを表示します。
状態	現在のRAIDの状態を表示します。 状態表示の種類:正常 / デグレード / 崩壊 / 再構築 / 不明
自動再構成	自動再構成の有効 / 無効を設定します。 「有効」に設定すると、故障ディスクの交換時に自動的に再構築をおこないます。 「無効」に設定すると、故障ディスクの交換をしても自動再構築をおこないません。 RAID構成に組み込むディスクにチェックを入れてから「設定」をクリックすると、再構築をおこないま す。結果は「RAIDステータス」画面で確認できます(結果の反映まで数分必要な場合があります)。
RAIDモード 変更	データボリュームのRAIDモードを変更・表示します。 ※ マルチディスクの場合、変更できません。 ※ RAIDモードを変更する際は、外付けHDDやUSBメモリーなどのデバイスはすべて取り外してくだ さい。

MEMO RAIDステータスで、認識されない場合
 ディスク交換後にRAIDステータスで認識されない場合は「更新」をクリックします。
 本製品の電源が入っている状態で、ディスクを交換後に、ZWS ManagerのRAIDステータスで認識されず、リビルドが開始できない場合があります。
 ※「RAIDステータス」画面の反映まで、数分程度かかります。

本体 FAN と 温度

FANの回転数と本体温度が表示されます。

🗭 ZWS Manager			X
🥑 zws m	anage	r	
■ZWS Manager	本体FANと温度		
	FAN回転数	4687 [RPM]	
 メール設定 スケジュール設定1 スケジュール設定2 省電力設定 Funcボタン設定 アクティブリペア 	本体温度	38 ['C]	

項目	内容
FAN 回転数	現在の FAN の回転数を表示します。 搭載されている FAN の数に応じて、複数表示される場合があります。
本体温度	現在の本体の温度を表示します。

内蔵ディスクのアンプラグ

障害が発生したディスクを指定し、アンプラグ処理をおこないます。



※ マルチディスクモードの場合は、ZWS Managerのアンプラグからは取り外しできません。

メール設定

ZWS Manager が検出したエラーや警告をメール送信する際に設定します。

🗭 ZWS Manager		X
🧭 zws m	anager	
■ ZWS Manager ■ RAIDフテータフ	メール設定	
本体FANと温度 の帯ディフクのアンプラグ	メール機能	○有効 ⑧無効
	SMTPサーバー	
スケジュール設定1	SMTPサーバーポート番号	25
	メール差出人アドレス	
アクティブリペア	認証方式	認証なし ~
	認証先POPサーバー名	
	ユーザー名	
	バスワード	
	メール送信先アドレス	
	エンコード	● ISO-2022-JP UTF-8
		送信テスト 設定

項目	内容
メール機能	「有効」 にチェックを入れると、ZWS Manager が検出したエラーや警告を指定のメー ルアドレス宛に送信します。
SMTP サーバー	SMTP サーバーを入力します。
SMTP サーバーポート番号	SMTP サーバーポート番号を入力します。
メール差出人アドレス	差出人として表示するメールアドレスを入力します。
認証方式	認証方式を選択します。
認証先 POP サーバー名	選択した「認証方式」に応じた認証先 POP サーバー名を入力します。
ユーザー名	選択した「認証方式」に応じたユーザー名を入力します。
パスワード	選択した「認証方式」に応じたパスワードを入力します。
メール送信先アドレス	送信先のメールアドレスを入力します。複数のアドレスを設定したい場合はセミコロン (;)で区切ってください。(最大 255 文字)
エンコード	エンコード方式を選択します。
送信テスト	入力したメールアドレス宛にテスト送信します。

スケジュール設定1

起動・終了する曜日や時刻を設定できます。

ZWS Manager	ースケジョ	ュール設)	定1—							
RAIDステータス 本体FANと温度		起動設定	2	時刻	a)	終了設定		時刻	IJ	
内蔵ディスクのアンプラグ メール設定	Β		08	時	00 分		20	時	00	分
<mark>スケジュール設定1</mark> スケジュール設定2	月		08	時	00 分		20	時	00	分
省電力設定 Funcボタン設定	火		08	時	00 分		20	時	00	分
└── アクティブリペア	7K		08	時	00 分		20	時	00	分
	木		08	時	00 分		20	時	00	分
	金		08	時	00 分		20	時	00	分
	±		08	時	00 分		20	時	00	分

[設定] をクリックすると、設定画面が表示されます。 起動・終了する曜日にチェックを入れ、時刻を入力してから、再度 [設定] をクリックしてください。

終了時刻後は、休止状態になります。ランプはすべて消灯になります。

※設定時刻にバックアップなどのソフトウェアが動作しないようにご注意ください。

※スケジュールで起動するには、あらかじめ本製品がスケジュール設定で休止状態になっている必要があります。また、本製品を常にコンセントにつなげた状態にしてください。

スケジュール設定2

スケジュール終了の保留状態の確認と処理ができます。

以下のいずれかの状態である場合、「スケジュール設定1」で設定した終了設定時刻を過ぎても休止状態にならずに保留状態になります。

●RAID再構築中

● ユーザーが共有フォルダー内のファイルを開いている 「スケジュール設定2」では、保留状態の確認・解除ができます。 ※ 保留状態は起動時間を過ぎると自動で解除されます。

> 🖉 ZWS Manager \times Ø **ZWS Manager** スケジュール設定2 ZWS Manager -RAIDステータス 本体FANと温度 スケジュール状態 終了設定時刻前 内蔵ディスクのアンプラグ メール設定 [キャンセル]ボタンを押すと 「スケジュール状態」を 「終了設定時刻前」にします。 スケジュール設定1 キャンセル ル設定2 省電力設定 Funcボタン設定 アクティブリペア

項目	内容				
	スケジュールの状態が表示されます。				
フケジュール学能	終了設定時刻前の状態です。				
スリシュールれ感	終了設定時刻	終了時刻になると、終了動作をおこないます。			
	ユーザーログオン中 RAID 再構築中	保留状態です。該当の動作が完了時に、終了動作をおこないます。			
キャンセル	「ユーザーログオン中」や「RAID 再構築中」の保留状態を解除する場合にクリックします。次の終了時刻まで終了しません。				

省電力設定

内蔵・外付けの各ディスクに対してアクセスされなくなってからスピンダウンを実施するまでの時間を設定できます。 ※システム (Windows)がインストールされた内蔵ディスクでは、機能しません(システムは、内蔵ディスクのCドライ ブ領域にインストールされています)。

	anage	r
CWS Manager RAIDステータス 本体FANと温度 内蔵ディスクのアンブラグ メール設定 スケジュール設定1 スケジュール設定2 <mark>省電力設定</mark> Funcボタン設定 アクティブリペア	省電力設定 省電力機能 停止までの時間	

項目	内容
省電力機能	省電力機能の有効 / 無効を設定します。
停止までの時間	内蔵・外付けの各ディスクに対してアクセスされなくなってから、スピンダウンを実施するまでの時間を設定します。1~99999分の間で設定可能です。

※設定時間内に共有フォルダーなどにアクセスしなくても、本製品のシステムがディスクにアクセスした場合は、停止しません。

※ディスク停止中に、本製品システムからのアクセスによりディスクがスピンアップする場合があります。

Funcボタン設定

Funcボタンの設定を表示します。



項目	内容
Funcボタン機能	Funcボタン機能の有効/無効を設定します。
アプリケーション	Funcボタンを押すと起動するアプリケーションを設定します。

※Funcボタンに登録できるアプリケーションは、管理者権限を必要としないコマンドラインプログラムのみとなります。 また、実行時に管理者権限を必要とする処理(フォルダーへのアクセス等)をおこなうプログラムも正常に動作しません。

アクティブリペア

アクティブリペアは、内蔵ディスクの一部に不良セクターが発見された場合、他の正常なディスクからデータを読み込ん で異常のあるディスクに書き込み、ディスク不良によるデータ損失を未然に防止する機能です。

※RAIDモードのシステム領域のみ対象です。

※RAIDの状態が正常でない場合はアクティブリペアは実行できません。正常な場合、45分程度で終了します。

🥑 zws n	Jana ger
□ ZWS Manager □ RAIDステータス	アクティブリペア設定
本体FANと温度 内蔵ディスクのアンプラグ	現在のステータス 待機状態
メール設定 メール設定 ニースケジュール設定1 ニースケジュール設定2 ニー省電力設定 Funcボタン設定 アクティブリペア	実行/停止 アクティブリペアを今すぐ実行/停止します 今すぐ実行 停止
	アクティブリペアスケジュール実行
	○有効 ⑧無効
	曜日(毎月最初): ◎日 ○月 ○火 ○水 ○木 ○金 ○土
	開始時刻: 📕 🗸 時 📕 🗸 分
	設定

項目	内容			
	本製品の状態が	表示されます。		
	準備中	本製品起動直後の約1分間、状態が落ち着くまでこの状態となります。		
	待機状態	過去に一度もアクティブリペアが実行されていない状態です。		
	前回正常終了	前回のアクティブリペアは正常終了しました。再度実行できます。(現在未実行)		
羽在のフテータフ	タス 前回一部修復 不可能領域あり 前回エラー終了	前回のアクティブリペアで修復不可能なセクターが存在しました。(現在未実行) 例 : RAID1 を構成する 2 台の HDD の同一セクターにエラーが存在した 対象ボリュームのバックアップとリカバリーをおこなってください。		
		前回のアクティブリペアで何らかの内部的な要因でエラー終了しました。(現在未実行) 例:HDD へのコマンド失敗 本製品を再起動後にアクティブリペアを再実行してください。それでもエラーになる場 合は対象ボリュームのバックアップとリカバリーをおこなってください。		
	前回中断されま した	前回のアクティブリペア中にシャットダウン等で中断されました。(現在未実行)		
	実行中	現在アクティブリペア実行中です。		

項目	内容
実行 / 停止	アクティブリペアを実行する場合は、「今すぐ実行」をクリックします。 実行中に止める場合は「停止」をクリックします。
アクティブリペア スケジュール実行	アクティブリペアを定期的に実行する場合は「有効」を選択し、「曜日(毎月最初)」、「開始時刻」 を設定して「設定」をクリックします。

MEMO アクティブリペア中のご注意

- アクティブリペア中は本製品の動作が遅くなる場合があります。
- アクティブリペアのスケジュール実行時刻に本製品が休止状態や電源がOFFの場合、アクティブリペアの実行は見送られます。ただし、復帰(起動)時がその月の最初の7日間以内の場合は、再実行します。
- アクティブリペア中に「スケジュール設定」で設定した終了時刻になった場合、アクティブリペアを中止 します。NASが起動した後も再開はしません。 スケジュール設定で休止の時間を設定している場合は、「アクティブリペアスケジュール実行」をNASが 起動中の時間に設定してください。

ディスクを交換する場合・アンプラグができない場合

ディスクが故障した場合は、以下の手順にしたがってディスクを交換してください。 また、アンプラグができない場合は、交換の手順を参照してディスクを取り外してください。

重要 ディスクの交換をする前に、必ずデータのバックアップをしてください

- ●バックアップしたデータの確認が終わるまでは、電源を切らないようにしてください。 電源OFF後に製品を再起動した際に製品が正常に起動せず、製品内のデータにアクセスできない 場合や、RAID構成が崩壊し修復不能の状態に至る危険性があります。
- バックアップが取られていない場合、データ自体の復旧が必要な場合は、作業を行わずデータ復旧 業者にご相談ください。
- ※誤って障害が発生していないディスクを交換すると、すべてのデータが失われます。故障したディス クを間違えないよう充分ご注意ください。
- ※ディスクの取り付け・取り外しは、必ず1台ずつ説明通りに行ってください。

ディスクを交換する前に、ブザーとランプ表示を確認します。

※ ブザーが鳴っている場合は、前面のFuncボタンを押すか、ZWSManager上で「ブザー OFF」をクリックしてブ ザーを止めてから、製品の状態を確認してください。 誤って電源を切らないでください(POWERボタンを押したり、背面の電源コードを抜いたりしないでください)。

● HDDランプが点灯している場合

HDD ユニットが故障していると、対応するHDD ランプが赤点灯しています。 故障しているHDD ユニットを確認してください。 → [HDD エラーが発生した場合のディスクの交換方法](→P.17)

● HDDランプが消灯している場合

→「ボリュームの冗長性が失われた場合のディスク交換方法」(→P.21)

■ HDD エラーが発生した場合のディスクの交換方法



ZWS Managerを開きます。

- 🧊 「内蔵ディスクのアンプラグ」 をクリックします。
- 3 故障したディスク (HDD)を選び、「アンプラグ」をクリックします。



「アンプラグに失敗しました」 と表示された場合は、本製品の電源を切ってから 次の手順に進みます。

本製品前面の電源ボタンを押し、ランプが消灯するまでお待ちください。 ※ 電源ボタンを3秒以上押さないでください。強制電源断となり、問題が発生する恐れがあります。

4 故障したディスクを取り外します。

① ディスクの着脱レバーを開き、ディスクを手前に引いて取り出します。



2 本製品の電源を切っている場合は、ディスクを取り出した後、再度電源を入れます。
 本製品前面の電源ボタンを押し、ランプが点灯するまで待ちます。
 ランプが点灯したら、データにアクセスできることを確認してください。
 ※システムが起動せず、起動中に「Windows Boot Manager」の選択メニューが表示された場合は、
 「Windows □□□□□」等を選んで起動してください。

5 別のディスクを取り付けます。

① 新しいディスクをスロットの奥まで挿入します。



着脱レバーをおろします。
 「カチッ」と音がするまでおろしてください。



6 HDD1 を交換した場合は 「セカンダリ」 の設定をおこないます。

- ① 「コントロールパネル」から「システム」→「システムの詳細設定」を開きます。
- ②「詳細設定」タブの「起動と回復」の「設定」をクリックします。
- ③「既定のオペレーティングシステム」で、「セカンダリ」を選び、設定します。

7 ディスクの状態を確認します。

新しいディスクを取り付けるとRAIDの再構築が始まり、しばらく後に正常な状態になります。 以下の手順で、正常な状態になったことを確認できれば、ディスクの交換は完了です。

- ① ZWS Managerを開きます。
- [RAIDステータス]の「状態」を確認します。
 - ●「状態」が「再構築」であれば、正常な状態に戻すためのRAID再構築の最中です。
 - 「正常」 であれば、本製品は正常な状態です。

🗭 ZWS Manager		X
🧭 ZWS M	anager	
 □ ZWS Manager ■ RAIDステータス 本体FANと温度 内蔵ディスクのアンプラグ メール設定 スケジュール設定1 スケジュール設定2 省電力設定 Funcボタン設定 アクティブリペア 	RAIDステータス SYSTEM ディスク1 ディスク2 DATA ディスク1 ディスク2	DATA RAIDモード RAID 1 状態 正常 自動再構成 〇無効 ④有効 設定 DATAボリュームRAIDモード変更
	更新	✓ RAIDモード変更

これでディスクの交換は完了です。

問題が解消されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

ΜΕΜΟ	IEMO リビルド完了までの時間(目安) 各モデルの容量により、リビルド完了までの時間が異なります。			
	A=7 ルのりと ■2ベイモデル	ルト元」よどの所要 、4ベイモデル(RA	时间(日女)は以下の通りです。「F来の前にと唯認へたさい。	
	2TB	約2時間30分		
	4TB	約5時間		
	8TB	約 10 時間		
	16TB	約14時間		
	■4ベイモデル	・(RAID5の場合)		
	4TB	約2時間30分		
	8TB	約5時間		
	16TB	約7時間30分		
	32TB	約 15 時間		

■ ボリュームの冗長性が失われた場合のディスク交換方法

システムボリュームやデータボリュームの冗長性が失われた場合は、以下の手順でディスクを確認・交換してください。

🚹 故障したディスクを特定します。

- ① 「アプリケーション」 ログを開きます。 「スタート」 - 「管理ツール」 - 「イベントビューアー」 - 「Windows ログ」 から「アプリケーション」 ログを開き ます。
- ② 「ソース」欄が「ZWSRAID」となっているログの中を確認し、故障したディスクを特定します。 ログにディスクエラーが記録されていない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

2 本製品の電源を切ります。

ディスクを取り外す前に、本製品の電源を切ります。 本製品前面の電源ボタンを押し、ランプが消灯するまでお待ちください。 ※電源ボタンを3秒以上押さないでください。強制電源断となり、問題が発生する恐れがあります。

3 [HDDエラーが発生した場合のディスクの交換方法] 手順 ④ (→P.18)以降の方法で ディスクを交換します。

「ボリューム不正」のメッセージが表示された

内蔵ディスクにCドライブまたはDドライブ以外のボリュームが設定されている場合に表示されます。

ZWS Manager	×
「ボリューム不正」が発生しています。 内蔵ハードディスクに C ドライブおよび D ドライブ以外な ムが設定されている場合、「ボリューム不正」の状態にない サーバーマネージャ」より「ディスクの管理」を聞き、C ドラ び D ドライブ以外のボリュームを確認のうえ、削除してく	のボリュー リます。「 ライブおよ ださい。
このとき、削除するボリューム内のデーターは消去されま 必要なデーターはあらかじめバックアップをしてください。	すので、
OK	

この場合、以下の手順にしたがって、ボリュームを削除してください。



📊 サーバーマネージャーを起動します。

2「ディスクの管理」を開きます。

「ツール」→「コンピューターの管理」→「ディスクの管理」をクリックします。

3 CドライブまたはDドライブ以外のボリュームを右クリックし、 「ボリュームの削除」をクリックします。

問題が解消されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

ディスク交換時にメッセージが表示された

故障したディスクと交換した別のディスクが、以前に他の機器に挿入されていたディスク(同シリーズの別の機器から取り出したディスク等)である場合、RAID 再構築前に確認画面が表示されます。

画面の指示にしたがってRAID再構築をおこなってください。 ※ ディスク交換には弊社製スペアドライブをご利用ください。

ZWS Manager			×
挿入されたHDI 能性があります 起動しているN され。 る新のデータで 再構築を行って	2 2 は以前に他の ASのデータが最新 であることが確認で ください。	機器に挿入されてい の状態であることを きたら[RAID再構築	いたHDDの可 確認してくだ 記をクリックし
	RAID再構築	キャンセル	

RAID崩壊が発生した

故障したディスクを交換して、リカバリーをおこなってください。

ディスクの交換方法については「ディスクを交換する場合・アンプラグができない場合」(→P.16)をご参照ください。

🗭 ZWS Manager		×
 ✓ ZWS Manager - RAIDステータス - HDDアンプラグ - 本体FANと温度 - メール設定 - Funcボタン設定 - スケジュール設定1 - スケジュール設定2 - 省電力設定 	RAIDステータス RAIDステータス SYSTEM HDD1 DATA HDD1 HDD1 HDD4	DATA RAIDモード RAID 5 状態 崩壊 自動再構成 〇無効 ●有効 設定
	更新	→ RAIDモード変更

●リカバリー手順はユーザーマニュアルをご覧ください。



※問題が解消されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

ログ・メール一覧

MEMO ログはWindowsのイベントビューアーにも記録されます

各種イベントログは、Windowsの[サーバーマネージャー]を開き、[ツール]→[イベントビューアー]を クリックし、イベントビューアーの [Windowsログ]→ [Application]内に [ソース名:ZWSRAID] で記 録されます。

▼メールタイトル:ディスクエラー

ログ・メール内容	概要	対策
内蔵スロットnのディスクにエラーが検出 されました。システムを再起動しても再度 エラーが検出される場合は、ディスクに致 命的なエラーが発生している可能性があ るため、至急交換してください。(n=1~4)	内蔵スロット n のディスク が 「エラー」 状態になった。 (n は、1 ~ 4)	至急システムボリュームおよびデータボリュームのバッ クアップを取ってください。システムを再起動可能な場 合は、再起動を行ってエラーが消えるか確認してくださ い。内蔵スロットnのディスクを交換してください。ZWS Manager からアンプラグできない場合は、システムの 電源を切ってから交換してください。(nは、1~4)

▼メールタイトル:ボリュームエラー

ログ・メール内容	概要	対策
システムボリューム上にエ ラーが検出されました。	システムボリュームの状態が「失敗」となっ た。システムボリュームの情報が「危険」 となった。	至急システムボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。システムが起動不能 となった場合は、システムのリストアを行ってください。
データボリューム上にエ ラーが検出されました。	データボリュームの状態が「失敗」となった。データボリュームの情報が「危険」 となった。	至急データボリュームのバックアップを取ってください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新し いものに交換してください。データボリュームにアクセス できなくなった場合は、データボリュームを再構築してく ださい。
システムボリュームの冗長 性が失われています。	システムボリュームは RAID による冗長性 が失われデータ保護がされていません。	至急システムボリュームのバックアップを取ってくださ い。構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスク を新しいものに交換してください。
データボリュームの冗長 性が失われています。	データボリュームは RAID による冗長性 が失われデータ保護がされていません。	至急データボリュームのバックアップを取ってください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新し いものに交換してください。

▼メールタイトル:ボリューム情報

ログ・メール内容	概要	対策	
システムボリュームの再構 築が開始されました。	システムボリュームの冗長性回復のため 再構築を開始しました。	システムボリュームの状況を確認してください。再構築 中は電源を切らないでください。再起動すると最初から 再構築をおこないます。また、再構築中はパフォーマン スが低下します。 電源ボタン長押しによる強制電源 OFF を実施していな いかや、電源コードが抜けかかっていないかもご確認く ださい。	
データボリュームの再構 築が開始されました。	データボリュームの冗長性回復のため再 構築を開始しました。	データボリュームの状況を確認してください。再構築中 は電源を切らないでください。再起動すると最初から再 構築をおこないます。また、再構築中はパフォーマンス が低下します。 電源ボタン長押しによる強制電源 OFF を実施していな いかや、電源コードが抜けかかっていないかもご確認く ださい。	
システムボリュームの再構 築が完了しました。	システムボリュームの冗長性が回復しました。	システムボリュームの状態が「正常」であることをご確 認ください。	
データボリュームの再構 築が完了しました。	データボリュームの冗長性が回復しました。	データボリュームの状態が「正常」であることをご確認 ください。	

▼メールタイトル:温度異常

ログ・メール内容	概要	対策
本体内部の温度が仕様 範囲を超えたため本体を シャットダウンしました。	システム温度が仕様範囲を超えた。	設置環境を確認し、ファンからの排熱が逃げ易い環境で あることを確認してください。温度異常を検知したら自 動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が 起きたらファンが正常に稼動していることを確認してくだ さい。

▼メールタイトル:ファン回転異常

ログ・メール内容	概要	対策
ファンの回転数が仕様範 囲を下回ったため本体を シャットダウンしました。	NAS 本体に付属のファンの回転数が仕様 範囲を下回った。	ファンが正常に稼動していることを確認し、異常があれ ば修理してください。

▼メールなし

ログ内容	概要	対策
ZWS RAID Manager で管理できない 状態です。	内蔵ディスク上にボリュー ムが 3 個以上存在する。	内蔵ディスク上にシステムボリュームと、データボリュー ムが 1 個だけ存在する状態にしてください。
Funcボタンが押され登録されているコマ ンドxxxが実行されました。(xxxは登録し たコマンド)	Funcボタンが有効で、 Funcボタンが押された。	Funcボタン機能が有効の場合は、Funcボタンを3秒以 上押すと登録したコマンドが実行されますので、登録さ れたコマンドが実行されたことを確認してください。

▼アクティブリペア

表示内容	説明	通知
手動操作によるアクティブリペアを開始しました。	「今すぐ実行」ボタンからアクティブリペアが開始された。	
スケジュール実行によるアクティブリペアを開始しました。	スケジュール実行によってアクティブリペアが開始された。	
システムボリュームのアクティブリペアを開始しました。	システムボリュームのアクティブリペアを開始した。	
システムボリュームのアクティブリペアが完了しました。	システムボリュームのアクティブリペアが完了した。	
アクティブリペアが中断されました。	「停止」 ボタン、 NAS 再起動などによりアクティブリペ アが中断された。	イベントログ、 メール
アクティブリペア実行中にシステムボリュームで修復不 可能なセクターが検出されました。 アクティブリペアを終了します。	アクティブリペア実行中にシステムボリューム内で見つ かった不良セクターの修復を試みたが修復できなかった。	
システムボリュームのアクティブリペアに失敗しました。	システムボリュームのアクティブリペア実行中に問題が 発生したのでエラー終了した。	

ELECOM

ZWS Manager ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社